嘉例（かれい）のながれ

江迎小学校　学校だより
平成３１年（令和元年）度　第４号
令和元年６月４日（火）発行
文責：校長　立木　昭夫

６月に入りました。今日は曇り空で、今週の金曜日に雨マークがついていますが、その後は来週月曜日までは、雨マークは見られません。今年の梅雨入りは遅いという予報も出ています。雨が降らないと登下校は楽ですが、渇水は気になるところです。

さて、私の不注意から大きな事故にあい、１か月の長いお休みをいただき、心よりお詫び申し上げます。おかげさまで、昨日６月３日（月）より勤務に復帰いたしました。その間、大変なご心配とご迷惑をおかけしました。また、本校の学校教育に対し、日頃にも増してご協力をいただきましたことに、感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。完全な回復には、まだ少し時間がかかりますが、できることから頑張っていきますので、今後もよろしくお願いいたします。

【運動会、入場行進の様子】

＜晴天に恵まれ、運動会大成功＞

入院中、運動会のことが大変気になっていました。先生たちからは、頑張っている子どもの様子は耳に入りましたが、それでも気になってしかたがありませんでした。回復とリハビリが順調に進み、午前中だけという条件で外出許可が出て、運動会に行けることになったときは飛び上がって（まだ体は飛び上がれませんでしたが）喜びました。

運動会の朝、学校につくと早速、子どもたちの元気な「おはようございます」の挨拶が聞こえました。中には、私を気遣って「大丈夫ですか」と優しい声をかけてくれる子どもがたくさんいました。とても嬉しかったです。

入場行進が始まりました。６年生を先頭に落ち着いた堂々とした行進でした。朝礼台の上からその姿を見ていて、「これはしっかりやる気をもって練習をしてきたな」ということが分かりました。「きっと今日の運動会は大成功だ」と確信しました。

競技、演技に入りました。手を抜いている子どもが一人もいません。みんな最後まで一生懸命やり切っていました。係の活動もすばらしかったです。みんな進んできびきびと取り組んでいました。特に６年生には、この運動会を自分たちが成功させるという自覚が見られました。とても嬉しいことです。

【運動会、１・２演技「パプリカ」の様子】

ＰＴＡの方にも頑張っていただきました。ＰＴＡ競技や運動場への散水、大変ありがとうございました。暑くて熱中症の心配がありましたが、子どもたちも気がけて給水をし、最後まで大丈夫だったと聞きました。午前中の最後の演技・江迎炭坑節には、多くの地域の皆様、保護者の皆様に参加していただきありがとうございました。学校、保護者、地域

が一体になった瞬間を見ることができとても嬉しかったです。
　残念ながら、午後の競技、演技を見ることができませんでしたが、子どもたちは最後までよく頑張り、運動会は大成功だったと聞きました。早朝からご来場いただきましたご来賓の皆様他、運動場に集まってくださった皆様のご協力に心から感謝いたします。

＜「いのちを見つめる日」、校長講話＞

「生きていてよかった！」　［R1.5.31「いのちを見つめる日」校長講話］

佐世保市立江迎小学校

「生きていてよかった！」今の校長先生の思いです。

「いのち」とは、身近にありながらその有難さにはなかなか気づかないものです。世界中のあちらこちらで、殺人事件が起こり、テロや戦争で多くの人が亡くなっています。また、食べ物がなかったり、病気になったりして多くの子どもたちが「いのち」をなくしています。私たちの中にはそのようなことを遠くで起こっている悲しいことのように思っている人が多いことだろうと思います。そして、時が過ぎるにつれて忘れ去られていくのでしょう。実は、校長先生もその一人だったように思います。

でも、先日の「いのち」を無くしかねない大事故にあったことで、「いのち」の大切さを身に染みて分かりました。また、自分が多くの人に支えられて生きていることが分かり、「いのち」は決して自分一人のものでないことを実感しました。

まずは、現場で助けてくださった近所の方々、消防の方々、病院の方々に深い感謝の気持ちをもちました。家族、特に先生の奥さんには、大変心配をかけてしまいました。また、その後、献身的に看病してくれたことに感謝の気持ちでいっぱいです。父母、兄弟、子どもたち地域の皆様、保護者の皆様のご心配もとても大きなものだったと思います。そして、江迎小学校の先生方にはたくさんの心遣いをしてもらいました。涙が出るほど嬉しかったと同時に、心配をかけて申し訳ないという気持ちでいっぱいでした。

そんな中、先生方と一緒に運動会に向けて頑張っている皆さんのことを聞き、元気になる力をもらいました。ありがとうございました。そして、心配をかけたこと、ごめんなさい。運動会の日に皆さんが「大丈夫ですか」と優しい声をかけてくれたこととても嬉しかったです。そして、皆さんが一生懸命に頑張っている姿がとてもまぶしかったです。半日しかいることができませんでしたが、校長先生にとって最後の運動会は、温かくて忘れられないものになりました。

明日、退院して、６月３日の月曜日から学校に来ることができるようになりました。これは、校長先生のまわりの多くの皆さんが支え、励ましてくださったおかげだと思います。今は、見えないかもしれませんが、ここにいる皆さん一人一人のまわりにも支えてくれる人がたくさんいるということを忘れないでください。

本当に「生きていて、よかった」。生きているからこそ、また学校に戻ってくることができるし、笑うこともできるし、泣くこともできます。生きていることはすばらしい。これからも皆さんからいただいた「いのち」を大切にして、皆さんために、皆さんの「いのち」を守るために頑張っていきたいと思います。まだ、視力の方が本調子ではないので、しばらくは以前のようには動けずに迷惑をかけると思いますが、だんだんとよくなっていきますので見守ってくれると有難いです。

さて、明日６月１日は、「いのちを見つめる日」です。１５年前のこの日、市内で一人の小学生の「いのち」が突然奪われました。当時、猪調小学校に勤務していた私は、大きな衝撃を受けました。この思いを決して忘れてはならないと思いました。あれから１５年、市内の学校では、子どもたちと一緒に「いのち」について考える様々な取組をしてきました。特に６月を「いのちを見つめる強調月間」と定め力を入れています。江迎小学校でもいろいろな取組をします。皆さん一人一人が、自分の「いのち」を大切にすると共に、人への思いやりを忘れない人になってほしいという願いを込めて一つ一つ努力していきます。皆さんも一緒に「いのち」や思いやりについて考えていきましょう。